

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 鞍手町立新延小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年児童 23名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間 等)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	○ 障がい者スポーツについて学び、体験することを通して、「1年生から6年生までが楽しめるスポーツ大会を開く」という目標をもつことができる。
5 取組内容	<p>実践2：障がい者スポーツを体験しよう。(2時間)</p> <p>(1) ボッチャに挑戦しよう。</p> <p>○ 工夫されているところや、難しいと感じるところを出し合い、障がい者スポーツの特徴を捉える。</p> <p>(2) シットイングバレーに挑戦しよう。</p> <p>① 競技のルールを知る。</p> <p>② 体の動きを確認する。</p> <p>③ チームごとに練習をする。</p> <p>④ 試合をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【体の動きを確認する様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【ボッチャを体験している様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【シットイングバレーをする児童の様子】</p> </div> </div> <p>(3) 校内スポーツ大会を企画しよう。</p>

<p>6 主な成果</p>	 <p>【児童がまとめた新聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックの競技や障がい者スポーツについて、インターネットを使って進んで調べる姿が見られるようになった。 ○ 低学年にとっての視点、高学年にとっての視点など、様々な立場にたって、ルールを考えることができるようになった。 <p>【児童の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シッティングバレーは、思った以上に難しく、おしりを上げずにするという動作の制限がある中では、思うようにできなかった。 ・「みんなが楽しむ」という目的をもって、バレーのルールを自分たちでルールを考えていくということはおもしろいと思った。 ・ルールを工夫することで、みんなが楽しむことができるようになった。 ・ボッチャは、たてわり班でもすぐにやってみたいと思う。審判もできるようになったので、積極的にやりたい。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間と道徳、体育の時間と関連付けて行った。 ○ 取組を全校に広げようという目的意識をもたせた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ たてわり班活動として位置付ける際には、ルールを整理・工夫する必要がある。その際は、子供の主体的な活動となるように、高学年児童が目的意識をもち、共通理解を図っていく必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者スポーツの普及に向けて、学校全体に呼びかけ、障がい者スポーツ大会を実施する。

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 鞍手町立新延小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年児童 24名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間 等) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	○ 障がい者スポーツに携わる人の話を聞き、障がい者スポーツを体験することを通して、障がいの有無に関わらずスポーツを楽しむことができることに気付くことができるように、様々な方とともにスポーツをする楽しさを味わう。
5 取組内容	実践 1:障がい者スポーツ・パラリンピックについて(講演・実演) (1) 障がい者スポーツに携わっている方の話を聴こう。(2時間) ・障がい者スポーツに関わるようになったきっかけを聴く。 ・障がい者スポーツの楽しさや難しさについて考える。 ・聖火ランナーについて知る。 ・質問、振り返りをする。



【聖火ランナーの出水さん】



【トーチを持って振り返りを伝える様子】

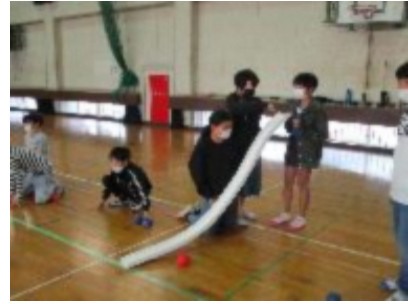
(2) ボッチャと出会おう。(2時間)

- ① 競技について知る。
- ・競技の歴史、ルール
- 今までに学習したパラリンピックの歴史を想起しながら、障がい者スポーツについて知る。



【競技についての説明】

- ② 障がいがある人が、どのようにして競技をしているのかを知る。
- 障がいの有無に関わらず、競技ができることや、ルールが簡単なことに気付かせる。



【ランプの使い方についての説明】

- ③ 振り返りをする。

(3) 車椅子バスケットボールと出会おう(2時間)

- ① 福澤さんの紹介を聞く。
- ・車椅子バスケットボールとの出会い
 - ・車椅子バスケットボールとバスケットボールの共通点と相違点
 - ・チームやチームメイトの話
 - ・競技をして辛かったこと、嬉しかったこと、やっていたよかったと感じたこと



【福澤選手が話している様子】

- ② 質問をする。
- ・競技用車椅子と車椅子の違いについて
- ③ 車いすバスケットボールの実技を見る。
- ・競技用車椅子に乗って、パスやシュートをする。
- ④ 振り返りをする。



【シュートを試す児童の様子】

6 主な成果

- パラリンピックに興味がないと答えていた児童が、障がい者スポーツに興味を持ち始めた。
- 障がいの有無に関わらず、一緒にスポーツを楽しみたいと答えた児童が増えた。
- パラリンピックの競技や障がい者スポーツについて、インターネットを使って進んで調べる姿が見られるようになった。

	<p>○ 児童の多くは、障がい者スポーツは障がいのある人がするスポーツと考えていたが、学習を通して障がい者スポーツはだれでも楽しむことができるスポーツと考えることができるようになった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【児童の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャは簡単そうだったけど、やってみると難しかった。話を聞いて、様々な障がいに応じてルールが考えられていることを知った。脳性麻痺の方もできるスポーツで、支援する人の動きにも決まりごとがあると聞いてなるほどと思った。 ・他の障がい者スポーツも調べてみたい。特に、車いすテニスを調べたい。 ・ルールを工夫することで、みんなが楽しむことができるようになった。 ・僕はボッチャが、障がいがある人もない人も高齢者の方も一緒に楽しめるスポーツだと思います。僕はボッチャを広めたいと思う。 </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 身近な人材を活用した。また、福岡県障がい者スポーツ協会と連携して取組を行った。</p> <p>○ プロのスポーツ選手との交流を図った。</p> <p>○ 総合的な学習の時間と道徳、体育の時間と関連付けて行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○ 障がい者スポーツの道具を借りるところが近くにない。競技用の車椅子の運搬方法を考えていく必要がある。</p> <p>○ 障がい者スポーツのルール(障がいの区分等)が難しいものもある。学校で行う場合にはルールを整理・工夫する必要がある。</p> <p>○ コロナウイルス感染症予防の対策も確実に行っていく必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 障がい者スポーツの普及に向けて、学校全体に呼びかけ、障がい者スポーツ大会を実施する。</p> <p>○ ボッチャの道具を日常的に使うことができるようにするとともに、どの学年でも気軽に体験できるように職員研修を実施する。</p>